



平成27年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月10日

上場取引所 東 福

上場会社名 株式会社 リンガーハット

コード番号 8200 URL <http://www.ringerhut.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 秋本 英樹

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部兼品質保証チーム担当 (氏名) 小田 昌広

TEL 03-5745-8611

四半期報告書提出予定日 平成26年10月14日

配当支払開始予定日

平成26年11月13日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年2月期第2四半期の連結業績(平成26年3月1日～平成26年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第2四半期	18,533	2.2	693	17.4	656	22.3	119	△62.0
26年2月期第2四半期	18,140	5.1	590	49.0	536	62.4	315	108.6

(注) 包括利益 27年2月期第2四半期 188百万円 (△39.8%) 26年2月期第2四半期 313百万円 (111.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第2四半期	5.43	—
26年2月期第2四半期	14.29	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年2月期第2四半期	25,202	10,798	42.8	491.39
26年2月期	24,410	10,871	44.5	492.65

(参考) 自己資本 27年2月期第2四半期 10,798百万円 26年2月期 10,871百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	5.00	—	5.00	10.00
27年2月期	—	5.00	—	—	—
27年2月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年 2月期の連結業績予想(平成26年 3月 1日～平成27年 2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	37,000	0.7	2,000	12.5	1,900	13.7	750	6.0	34.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年2月期2Q	22,067,972 株	26年2月期	22,067,972 株
② 期末自己株式数	27年2月期2Q	92,143 株	26年2月期	199 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年2月期2Q	22,050,535 株	26年2月期2Q	22,057,792 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- (1) 本資料に掲載されている予想数値は、当行が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、【添付書類】3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- (2) 本資料のサマリー情報、【添付書類2ページ「経営成績に関する説明」及び11ページ「セグメント情報」に記載している売上高には、その他の営業収入を含めております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11
5. 補足情報	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済環境は、アベノミクスによる経済・金融政策推進を背景に、企業収益や個人消費の一部に改善がみられる一方で、消費税の増税や円安による輸入品価格の上昇による消費低迷など、先行きは依然として不透明な情勢が続いております。

外食産業におきましても、中国産期限切れ食材混入事件の影響による輸入食材に対する不信感の拡大や、原材料価格の高騰など厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社グループはいち早く取り組んできた野菜や小麦粉等の食材の国産化や店舗での原産地表示などによる食の『安全・安心』をより一層追求するとともに、『全員参加で企業体質を改革しよう』をスローガンに、強固な企業体質づくりに取り組んでまいりました。

国内の店舗の出店及び退店につきましては、当第2四半期連結累計期間中に「長崎ちゃんぽんリンガーハット」を28店舗出店し10店舗退店いたしました。「とんかつ浜勝」は2店舗出店し1店舗退店いたしました。また、海外ではタイ国にて2店舗、台湾にて2店舗を退店いたしました。その結果、当社グループ合計の平成26年8月末の店舗数は前連結会計年度末より15店舗増加し、国内660店舗、海外5店舗の計665店舗となりました（うち直営471店舗、FC194店舗）。

店舗売上高につきましては、前連結会計年度のTV放映の反動と消費税増税後の影響を受け厳しい状況が続きましたが、『安全・安心』な商品の提供の維持を目的として8月に実施した価格改定の効果により、当第2四半期連結累計期間の既存店売上高前年比は100.5%となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は185億33百万円（前年同期比2.2%増）、営業利益は6億93百万円（同17.4%増）、経常利益は6億56百万円（同22.3%増）と、増収増益とすることができました。

また、下半期に予定していた不採算店舗の退店や有形固定資産の売却を一部前倒しして実施し、特別損失を計上したことにより、当第2四半期連結累計期間の四半期純利益は1億19百万円（同62.0%減）となりました。

セグメント別の業績概況は次のとおりであります。

（長崎ちゃんぽん事業）

リンガーハットでは、『安全・安心な国産野菜』を美味しく食べていただく「日本の野菜の日キャンペーン」を継続実施し、「野菜たっぷりシリーズ」の販売促進や夏向けメニューの「冷やしちゃんぽん」「野菜つけめん」「黒酢冷麺」を新発売し売上高増加を図りました。

また、調理教育に力を入れ、よりおいしい商品の提供によるお客さま満足度の向上に取り組みました。

しかしながら、前年度のTV放映の反動や消費税増税後の客数減少を挽回しきれず当第2四半期連結累計期間の既存店売上高前年比は98.9%となりました。

以上の結果、売上高は137億30百万円（前年同期比1.5%増）、営業利益は2億94百万円（同1.2%減）となりました。

（とんかつ事業）

浜勝では、お客さまに喜ばれる料理・サービスを実践するために、調理・サービスのトレーニングを徹底して取り組んでまいりました。また、新しい浜勝モデルの構築のため、健康志向ニーズに対応した食材の提供や女性のお客さまをターゲットに手作りの「デザートビュッフェ」を導入する等の販売施策を図っており、当第2四半期連結累計期間の既存店売上高前年比は105.4%と順調に推移しております。

以上の結果、売上高は47億7百万円（前年同期比4.6%増）、営業利益は3億19百万円（同46.2%増）となりました。

（設備メンテナンス事業）

設備メンテナンス事業の「リンガーハット開発株式会社」につきましては、当社グループ内直営店舗及びフランチャイズ店舗の設備メンテナンスに係る工事受注や機器保全等が主な事業であり、当第2四半期連結累計期間の売上高は8億29百万円（前年同期比5.9%増）、営業利益77百万円（同7.8%増）となりました。

なお、前連結会計年度まで区分掲記しておりました「和食事業」につきましては、会社組織の変更に伴い、第1四半期連結会計期間より「とんかつ事業」に含めて表示しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ7億92百万円増加し、252億2百万円となりました。これは主に売掛金と未収入金の増加によるものであります。

負債は前連結会計年度末に比べ8億65百万円増加し、144億3百万円となりました。これは主に長期借入金増加によるものであります。

純資産は自己株式の増加により、前連結会計年度末に比べ72百万円減少し、107億98百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年2月期の連結業績予想につきましては、平成26年4月11日に発表した前回予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引)

当社は、当第2四半期連結会計期間より、「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第30号 平成25年12月25日)を適用しております。

当社は、従業員への福利厚生制度の拡充及び社員等の帰属意識と経営参画意識の醸成並びに長期的な業績向上や株価上昇に対する意欲や士気の高揚を図ることを目的として、平成26年7月より「株式付与E S O P信託」制度を導入しました。

① 取引の概要

当社は、従業員に対する賞与のうち、一定割合を超える部分についてポイントを付与し、退職時に当該付与ポイントに相当する当社株式または売却代金を交付または給付します。従業員に給付する株式については、予め信託設定した金銭により将来分も含めて取得し、信託財産として分別管理しております。

② 信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を信託における帳簿価額(付随費用の金額を除く)により純資産の部に自己株式として計上しております。当該自己株式の当第2四半期連結累計期間末の帳簿価額及び株式数は、149,976千円、91千株であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,474,540	1,470,433
売掛金	490,531	647,615
商品及び製品	46,270	49,452
仕掛品	11,466	12,164
原材料及び貯蔵品	268,892	252,891
前払費用	292,510	312,153
未収入金	419,594	901,813
繰延税金資産	52,181	52,295
その他	146,729	131,128
流動資産合計	3,202,717	3,829,949
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,596,041	7,776,851
機械装置及び運搬具(純額)	771,396	753,470
土地	5,743,090	5,552,228
リース資産(純額)	242,323	233,964
建設仮勘定	22,932	106,108
その他(純額)	454,858	479,040
有形固定資産合計	14,830,644	14,901,663
無形固定資産	207,451	309,492
投資その他の資産		
投資有価証券	1,435,342	1,533,468
差入保証金	997,025	961,420
建設協力金	219,730	178,207
敷金	2,492,567	2,529,151
繰延税金資産	704,913	689,063
その他	342,325	292,553
貸倒引当金	△22,605	△22,605
投資その他の資産合計	6,169,299	6,161,259
固定資産合計	21,207,396	21,372,415
資産合計	24,410,113	25,202,365

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	747,783	977,083
短期借入金	2,180,000	2,040,000
1年内返済予定の長期借入金	1,920,076	1,776,136
1年内償還予定の社債	220,000	220,000
未払金	489,114	542,385
未払費用	903,216	1,091,176
リース債務	80,434	82,851
未払法人税等	311,986	212,434
未払消費税等	204,729	285,444
株主優待引当金	60,640	63,224
店舗閉鎖損失引当金	12,107	51,863
販売促進引当金	7,710	—
資産除去債務	12,258	19,642
その他	230,831	348,049
流動負債合計	7,380,890	7,710,291
固定負債		
社債	260,000	150,000
長期借入金	2,840,042	3,495,114
長期末払金	419,063	421,047
リース債務	231,066	245,760
繰延税金負債	11,186	11,186
退職給付引当金	940,766	922,206
株式給付引当金	—	14,446
長期預り保証金	421,945	369,010
資産除去債務	1,007,551	1,038,242
その他	25,882	26,185
固定負債合計	6,157,505	6,693,200
負債合計	13,538,396	14,403,492
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,066,122	5,066,122
資本剰余金	4,486,935	4,486,935
利益剰余金	1,182,038	1,191,574
自己株式	△278	△151,401
株主資本合計	10,734,817	10,593,231
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	115,997	192,740
為替換算調整勘定	20,901	12,900
その他の包括利益累計額合計	136,899	205,641
純資産合計	10,871,717	10,798,872
負債純資産合計	24,410,113	25,202,365

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
売上高	17,475,643	17,813,155
売上原価	5,807,155	6,059,205
売上総利益	11,668,487	11,753,950
その他の営業収入	665,270	719,982
営業総利益	12,333,758	12,473,933
販売費及び一般管理費	11,742,896	11,780,397
営業利益	590,861	693,535
営業外収益		
受取利息	3,349	2,932
受取配当金	5,253	9,491
保険解約返戻金	6,511	—
店舗閉鎖損失引当金戻入額	6,731	—
その他	6,280	22,370
営業外収益合計	28,126	34,794
営業外費用		
支払利息	56,315	44,489
持分法による投資損失	8,615	6,624
その他	17,757	21,151
営業外費用合計	82,688	72,265
経常利益	536,299	656,064
特別利益		
収用補償金	—	395
段階取得に係る差益	6,554	—
負ののれん発生益	891	—
特別利益合計	7,446	395
特別損失		
店舗閉鎖損失引当金繰入額	—	44,319
減損損失	—	109,136
固定資産売却損	—	108,569
固定資産除却損	16,421	18,162
その他	1,369	—
特別損失合計	17,790	280,188
税金等調整前四半期純利益	525,955	376,271
法人税等	216,029	257,065
少数株主損益調整前四半期純利益	309,925	119,205
少数株主損失(△)	△5,318	△669
四半期純利益	315,244	119,875

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	309,925	119,205
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,141	76,742
為替換算調整勘定	2,700	△3,893
持分法適用会社に対する持分相当額	△2,419	△3,438
その他の包括利益合計	3,422	69,410
四半期包括利益	313,348	188,616
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	319,960	188,616
少数株主に係る四半期包括利益	△6,611	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	525,955	376,271
減価償却費	617,988	597,887
減損損失	—	109,136
のれん償却額	—	3,138
株主優待引当金の増減額(△は減少)	2,632	2,584
退職給付引当金の増減額(△は減少)	11,981	△18,560
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	△41,695	39,756
受取利息及び受取配当金	△8,602	△12,423
支払利息	56,315	44,489
持分法による投資損益(△は益)	8,615	6,624
有形固定資産売却損益(△は益)	—	108,569
有形固定資産除却損	16,421	18,162
売上債権の増減額(△は増加)	△118,874	△157,083
たな卸資産の増減額(△は増加)	16,747	12,121
仕入債務の増減額(△は減少)	235,226	229,299
未払消費税等の増減額(△は減少)	6,164	80,714
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△270,953	△488,231
その他の流動負債の増減額(△は減少)	179,800	324,319
長期未払金の増減額(△は減少)	△359	1,984
預り保証金の増減額(△は減少)	9,867	△52,934
その他	32,733	62,093
小計	1,279,965	1,287,920
利息及び配当金の受取額	5,845	10,380
利息の支払額	△54,559	△43,479
法人税等の支払額	△268,970	△344,202
営業活動によるキャッシュ・フロー	962,280	910,619
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△511,196	△864,783
有形固定資産の売却による収入	34,009	78,200
無形固定資産の取得による支出	—	△78,737
投資有価証券の取得による支出	△635	△16,637
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△24,986	—
子会社株式の取得による支出	—	△5,527
関連会社株式の取得による支出	△92,977	—
建設協力金等の支払による支出	△28,629	△110,928
建設協力金等の回収による収入	129,963	173,955
その他	△39,566	△33,687
投資活動によるキャッシュ・フロー	△534,018	△858,145

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年8月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△982,000	△140,000
長期借入れによる収入	1,150,000	1,750,000
長期借入金の返済による支出	△777,628	△1,238,868
社債の償還による支出	△110,000	△110,000
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△42,828	△51,839
自己株式の取得による支出	△806	△151,122
配当金の支払額	△110,277	△110,856
財務活動によるキャッシュ・フロー	△873,540	△52,686
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,573	△3,893
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△441,706	△4,106
現金及び現金同等物の期首残高	1,309,704	1,474,540
現金及び現金同等物の四半期末残高	867,998	1,470,433

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年3月1日 至 平成25年8月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	長崎 ちゃんぽん	とんかつ	設備 メンテナンス	合計		
売上高 (注) 3						
外部顧客への売上高	13,523,563	4,501,532	115,817	18,140,914	—	18,140,914
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	667,224	667,224	△667,224	—
計	13,523,563	4,501,532	783,042	18,808,139	△667,224	18,140,914
セグメント利益	298,355	218,193	72,243	588,792	2,069	590,861

(注) 1. セグメント利益の調整額はセグメント間の取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 売上高にはその他の営業収入を含めております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年3月1日 至 平成26年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	長崎 ちゃんぽん	とんかつ	設備 メンテナンス	合計		
売上高 (注) 3						
外部顧客への売上高	13,730,275	4,707,463	95,399	18,533,138	—	18,533,138
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	733,958	733,958	△733,958	—
計	13,730,275	4,707,463	829,357	19,267,096	△733,958	18,533,138
セグメント利益	294,731	319,064	77,852	691,648	1,887	693,535

(注) 1. セグメント利益の調整額はセグメント間の取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 売上高にはその他の営業収入を含めております。

2. 報告セグメントごとの変更等に関する情報

第1四半期連結会計期間より、会社組織の変更に伴い報告セグメントとして記載する事業セグメント「和食」を「とんかつ」に含めて表示しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、会社組織変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「長崎ちゃんぽん」セグメントにおいて、当第2四半期連結累計期間中に退店が決定した店舗に対し、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は109,136千円であります。

5. 補足情報

フランチャイズ店舗の売上高を加味した総売上高

期別	項目	長崎ちゃんぼん事業			とんかつ事業			外販事業	その他	合計
		直営店	フランチャイズ店	合計	直営店	フランチャイズ店	合計			
平成27年 2月期	売上高 (百万円)	11,326	4,857	16,183	4,324	846	5,171	221	244	21,821
第2四半期 連結累計 期間	店舗数 (店)	384	175	559	87	19	106	—	—	665
平成26年 2月期	売上高 (百万円)	11,634	3,762	15,396	4,133	751	4,884	146	182	20,609
第2四半期 連結累計 期間	店舗数 (店)	389	143	532	87	18	105	—	—	637
対前年比率	売上高	97.4%	129.1%	105.1%	104.6%	112.7%	105.9%	151.6%	134.3%	105.9%
	店舗数	98.7%	122.4%	105.1%	100.0%	105.6%	101.0%	—	—	104.4%

(注) 当社グループはフランチャイズ事業を拡大しており、外部売上高の純粹比較ができるように、参考資料として掲示しております。

なお、連結損益計算書に記載されている売上高は、フランチャイズ店舗から受け取るロイヤリティー収入と材料等売上高を計上しているため、この表の数値とは一致いたしません。